

第6次直方市総合計画基本構想（案）における用語説明資料  
（第6次直方市総合計画審議会（第3回）資料）

①バックキャストイング（1ページ）

将来のありたい姿・あるべき姿を設定し、その実現のために今何をすべきかを考える思考方法。

②ICT・AI（4ページ）

ICT：Information and Communication Technologyの略。コンピューターやインターネットなどの情報技術を活用して様々な人やモノをつなげていくこと。

AI：Artificial Intelligenceの略で人工知能のこと。人間の知的振る舞いの一部をソフトウェアを用いて人工的に再現したもの。

③超スマート社会（Society5.0）（4ページ）

コンピューターやネットワークの中に広がるデータ領域を、多数の利用者が自由に情報を流したり、情報を得たりすることが出来る仮想的な空間である「サイバー空間」と現実の「フィジカル空間」を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会。狩猟社会（Society 1.0）、農耕社会（Society 2.0）、工業社会（Society 3.0）、情報社会（Society 4.0）に続く、新たな社会を指しています。

④人生100年時代（6ページ）

『LIFE SHIFT（ライフ・シフト）』の著者であるリンダ・グラットン教授が提言したもの。寿命が（100歳前後まで）今後伸びていくにあたって、国・組織・個人に対し、寿命の延伸に応じた人生設計の見直しが迫られていることを表しています。国では、超高齢化社会の日本において経済・社会システムが今後どのようにあるべきかを考える人生100年時代構想を掲げています。

⑤ジェンダー平等（9ページ）

ジェンダー（gender）とは、生物学的な性別（sex）に対し、社会的・文化的につくられる性別を指し、男女の社会的・文化的役割の違いや男女間の関係性を示します。ジェンダー平等とは、このジェンダーに基づく偏見や不平等が解消した状態を指します。

⑥サテライトオフィス（10ページ）

企業や団体の本社・本拠から離れた場所に設置されたオフィス。通勤時間の短縮により、育児や介護との両立など、働く人の多様なニーズに応えたり、本社と距離の離れた地域に、企業の中核事業のバックアップ機能を付与したりすることで、サテライトオフィスを災害時のBCP（事業継続）対策に活用することも可能になります。

### ⑦国土強靱化（11 ページ）

大規模自然災害等に備えるため、事前防災・減災と迅速な復旧復興に資する施策を、まちづくり政策や産業政策も含めた総合的な取り組みとして計画的に実施し、強靱な国づくり・地域づくりを推進するもの。

### ⑧コンパクト+ネットワーク（11 ページ）

人口減少・高齢化が進む中、都市機能の集約化と持続可能な地域公共交通ネットワークの形成によって、居住を公共交通沿線や日常生活の拠点に緩やかに誘導し、居住と生活サービス施設との距離を短縮することで、市民の生活利便性の向上を図るまちづくりの手段。

### ⑨低炭素エネルギー（12 ページ）

風力、太陽光、波力、地熱、水力など、二酸化炭素を排出しない、または排出量が非常に少ないエネルギー。

### ⑩脱炭素社会（12 ページ）

地球温暖化の原因と考えられている二酸化炭素の排出が実質ゼロとなる社会のこと。

### ⑪農業経営体（13 ページ）

農産物の生産を行うか又は委託を受けて農作業を行い、生産又は作業に係る面積・頭羽数が次の（1）～（3）のいずれかに該当する事業を行う者。

- （1）経営耕地面積が 30 アール以上の規模の農業。
- （2）農作物の作付面積又は栽培面積、家畜の飼養頭羽数又は出荷羽数、その他の事業の規模、が次の㉗～㉛の基準以上の農業。

㉗露地野菜作付面積 15 アール	㉑施設野菜栽培面積 350 平方メートル、
㉘果樹栽培面積 10 アール	㉒露地花き栽培面積 10 アール、
㉙施設花き栽培面積 250 平方メートル	㉓搾乳牛飼養頭数 1 頭、
㉚肥育牛飼養頭数 1 頭	㉔豚飼養頭数 15 頭、
㉛採卵鶏飼養羽数 150 羽	㉕ブロイラー年間出荷羽数 1,000 羽、
㉜その他 調査期日前1年間における農業生産物の総販売額50万円に相当する事業の規模。	

- （3）農作業の受託の事業

### ⑫6次産業化（13 ページ）

1次産業である農林漁業と、2次産業である製造業、3次産業である小売業等の事業との総合的かつ一体的な推進を図り、農山漁村の豊かな地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す取り組み。

### ⑬スマート農業（13 ページ）

ICT（情報通信技術）やロボット技術、AI（人工知能）やIoT（モノのインターネット）等の先端技術を活用し、作業の超省力化や生産物の品質向上を可能にする新しい農業。